

児童発達支援自己評価 集計結果（事業所）

事業所名 江戸川区小岩育成室

公表年月日：令和7年2月14日

記入年月日：令和6年11月5日 ～ 11月29日

回答数 11名

回収率 100%

評価項目			はい	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		療育内容や出席人数を踏まえ、適正な広さ、環境を確保しながら療育を行っています。個別療育の環境は部屋管理票を活用して調整をしています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
		保護者がお子さんの様子を見学できる環境や空間の工夫をしていきたいと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		基準に準じた配置をしています。前日、当日のミーティング時に活動内容や配慮点の確認を行い職員配置体制を整えています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
		前日のミーティングでお子さん一人ひとりの状況や活動内容に応じた支援体制を確認し、適切な支援を継続していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、発達の特性に応じ情報伝達等の環境上の配慮が適切になされているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		お子さんの発達特性を考慮し、視覚提示（支度表、予定ボード）を取り入れたり余分な刺激を排除したりするなどの構造化を行い、落ち着いた環境で過ごせるよう配慮しています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
		今後もお子さん一人ひとりが安心して生活しやすい空間、設備や表示等に配慮した環境づくりに取り組んでいきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		衛生管理責任者を決め、清掃・点検を1日に2回以上行う安全な環境作りを徹底しています。また、二酸化濃度測定器を使用し換気の確認を行い、感染拡大防止対策を行っています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
		今後も日々の清掃・消毒を丁寧に行い、お子さんが安心安全に活動に取り組める環境設定に努めます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		活動内容やお子さんの状態に応じて個別の部屋を使用している。クールダウンが必要な時などもパーティションを利用して空間を作れるように準備しています。		

評価項目		はい	いいえ
	<改善が必要だと思われる点など> 今後もプライバシーや人権を守りながら個別で利用できる空間の確保に努めます。		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか <工夫していると思う点> 6 職員会議やクラス会議で業務を職員で確認し、かつ定期的に見直しを行って評価・改善に努めています。改善事項は速やかに協議し、職員全員が共通認識のもと改善策に取り組んでいます。 <改善が必要だと思われる点など> 今後もPDCAサイクルを活用し、様々な取り組みに職員全員が参画していきます。	100%	0%
	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか <工夫していると思う点> 7 年1回は事業所自己評価を実施し、保護者の方からのご意見をもとに改善点などの見直しを行い、支援の質の向上につなげています。 <改善が必要だと思われる点など> 保護者の方から頂いたご意見を真意に受け止め、全職員で結果を分析して今後の改善に活かしていきます。	100%	0%
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか <工夫していると思う点> 8 定期的な室長面談と適時個別に話しを聞くなど職員関係の調整を行い業務を遂行しています。会議には全員参加を基本とし意見を出し合い内容を共有し課題を見つけ改善につなげています。 <改善が必要だと思われる点など> 全職員が適切な療育が出来るよう、職員間で気づきを共有し業務改善につなげていきます。	100%	0%
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか <工夫していると思う点> 9 定期的に第三者評価を受審し、評価結果を業務改善につなげています。 <改善が必要だと思われる点など> 保護者の方から頂いた評価や職員間での気づきを共有し、業務改善に努めています。	100%	0%
	職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や育成室内等で研修を開催する機会が確保されているか <工夫していると思う点> 10 OJT研修、育成室合同研修や外部講師を招いての研修など幅広く研修の機会を設けています。研修の学びは職員で共有し、職員の専門性の向上に努めています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も全職員が適切な専門性の高い支援が出来るよう、研修の機会を通し自己研鑽に努めています。また受講した研修の内容を職員で共有し、事業所全体の支援力の向上につなげていきます。	100%	0%

評価項目		はい	いいえ
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか <工夫していると思う点> 支援プログラムはホームページ公表されており、保護者には随時説明をし配布をしています。 <改善が必要だと思われる点など> 児童発達支援ガイドラインと共に支援のために活用していくことを確認しながら支援を行っています。	100% 0%
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか <工夫していると思う点> 児童発達支援管理責任者と各専門職が連携して保護者の方のニーズやお子さんの強みなどを把握し、ツール（アセスメントシート）を活用してアセスメントを実施しています。担当者会議を実施し協議して児童発達支援計画を立案しています。 <改善が必要だと思われる点など> お子さんの成長や小さな状況の変化も保護者と共有し、お子さんや保護者の方の意向を踏まえて客観的に分析を行い見直しをしています。	100% 0%
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討がおこなわれているか <工夫していると思う点> 児童発達支援管理責任者を含めて担当者全員でケース会議を行い、子どもの姿の共有や適切な支援の内容の検討を丁寧に行っています <改善が必要だと思われる点など> 引き続き集団療育、個別療育両面から子どもの姿を十分に理解し必要な支援を検討していきます。	100% 0%
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか <工夫していると思う点> 計画に沿った支援が日々行えるように日誌に記載し、毎日記録時に振り返り確認が出来るようにしています。 <改善が必要だと思われる点など> フィードバック時に支援計画に沿っていることが伝わるように丁寧かつ具体的な説明を心掛けていきます。	100% 0%
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか <工夫していると思う点> 標準化されたアセスメントツールを活用しアセスメントや発達評価を行っています。 <改善が必要だと思われる点など> ひとり一人に合わせたツールを使用してアセスメントを行いニーズと発達評価を踏まえて支援の内容に反映させていきます。	100% 0%

評価項目			はい	いいえ
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「地域支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 児童発達支援ガイドラインを基に、お子さんの発達や意向、保護者のニーズに応じた目標設定と具体的な支援内容を設定しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も児童発達支援ガイドラインを基にお子さん一人ひとりに必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定していきます。		
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 各専門職がチームとなり、一人ひとりにあった活動や配慮をそれぞれの専門的な視点から意見を出し合い、活動プログラムを立案しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も各職種が各専門性を活かし、お子さんが主体的に活動に参加出来るような活動プログラムの立案をチームで考えていきます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 繰り返し活動することで達成感を味わいつつ、少しずつステップアップしていくことで意欲や興味を広げていけるように活動プログラムを工夫しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 活動内容を各専門職がそれぞれの視点から意見を出し合い、お子さんが楽しく主体的に参加できる活動プログラムを工夫していきます。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 児童発達支援管理責任者が中心となって担当者支援会議等を実施し、お子さんが主体的に参加できる様々な活動を検討して児童発達支援計画を作成していきます。		
		<改善が必要だと思われる点など> お子さん一人ひとりの状況をタイムリーに共有し、各担当者が連携したチーム療育の強化に取り組んでいきます。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 前日や朝のミーティング時に職員間で打ち合わせを行い、活動内容等お子さんに合わせた支援が行えるように確認をしています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も安心して療育を受けていただけるように、日々の必要な情報共有や職員間の確認調整を行い、連携の強化を図っていきます。		

評価項目			はい	いいえ
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		安心して療育を受けていただけるように、日々の必要な情報共有や職員間の確認調整を行い、連携の強化を図っていきます。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も支援の振り返り内容、課題や気づきを全職員で共有し、支援力の向上につなげていきます。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		活動日誌、個別支援日誌の記録を活用して評価や反省を行い、次の支援に活かして改善しています。保護者説明及び同意のもとで療育内容をビデオ撮影し、支援の検証、振り返りをし改善出来るようにしています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 支援に関する記録を具体的にすることで、職員間の共通理解、客観的な検証や改善を行い、支援の向上につなげていきます。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		定期的なモニタリングを実施するとともに、日々のフィードバックや相談があった時にも児童発達支援計画を見直し、必要に応じて計画の変更を行っています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も定期的かつ必要に応じて見直しを行い、現状を踏まえたお子さんの支援に取り組めます。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		児童発達支援管理責任者や個別療育担当職員が参画し、日ごろの様子、支援で工夫している点、効果的な点などを伝えています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も相談支援事業所と連携をしながら、より良い支援の提供に努めます。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		お子さんの状況や保護者の意向に応じ、必要な関係機関と連携した支援を実施しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も関係機関と連携をとりながら、適切な支援を行っていきます。		

評価項目		はい	いいえ
関係機関や保護者との連携	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか 26 <工夫していると思う点> お子さんの状況や保護者の方からの依頼に応じて関係機関との連携を実施し、相互理解を図っています。 <改善が必要だと思われる点など> 最適な連携方法を関係機関や保護者の方と検討し、相互理解や情報共有のもとで支援を実施していくことに努めていきます。	100%	0%
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか 27 <工夫していると思う点> 保護者の依頼に応じて就学支援シート等を使用して子どもの状況や支援方法について共有をしています。特別支援学校とは、生活場面の見学や担当職員と直接的な情報共有を行い、丁寧な移行支援を実施しています。 <改善が必要だと思われる点など> 保護者の依頼に応じて就学支援シート等を使用して子どもの状況や支援方法について共有をしています。特別支援学校とは、生活場面の見学や担当職員と直接的な情報共有を行い、丁寧な移行支援を実施しています。	100%	0%
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 28 <工夫していると思う点> 江戸川区発達相談・支援センターの職員向けの研修等に参加して学ぶ機会を設け、支援の向上に繋げています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も良好な連携関係のもと、研修等での学びを職場内で共有し、支援の質や専門性の向上に努めていきます。	100%	0%
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 29 <工夫していると思う点> 近隣の保育園と40年以上交流の機会を設けています。今年度は他の公立保育園との交流の機会を増やしインクルーシブな経験の場を広げています。 <改善が必要だと思われる点など> 遊びの中で自然な交流ができるよう、活動や交流方法などを今後も工夫をしていきます。	100%	0%
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか 30 <工夫していると思う点> 日々のフィードバックや会話の中でお子さんの状況、課題や支援内容等について具体的に伝え、保護者の方と共通理解が図れるようにしています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も職員が相談しやすい雰囲気を作り、お子さんを中心に保護者の方と共通理解を図り、最善の支援を提供出来るように努めていきます。	100%	0%

評価項目		はい	いいえ
関係機関や保護者との連携	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修（講座・講演会等）の機会や情報提供等を行っているか <工夫していると思う点> 31 保護者向けの家族講演会や家族講座を通して、保護者の方に必要な子育ての手法や情報を提供したり、心理士によるペアレント・トレーニングを含めた講座を実施しています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後もニーズに応じた家族講演会や講座などを計画し、保護者の方への支援を充実していきます。	100%	0%
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか <工夫していると思う点> 32 契約時に「重要事項説明書」や「育成室のしおり」等の書面を配布し、具体的で分かり易い説明を心掛けています。また、運営規定や重要事項説明書などは保護者の方が自由に閲覧出来るようにファイリングして提示しています。 <改善が必要だと思われる点など> 引き続き、様々な場面を通して大切な情報が正確に伝わるよう、丁寧な説明を心掛けていきます。	100%	0%
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか <工夫していると思う点> 33 面談を行い本人や家族のニーズを丁寧に聞き取り支援計画に反映させています。ニーズに沿った目標や達成していくためのプロセスををお話して同意を得ています。 <改善が必要だと思われる点など> コミュニケーションが取れる年齢のお子さんともニーズの確認を出来る仕組みを工夫をしています。	100%	0%
保護者への説明責任等	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか <工夫していると思う点> 34 児童発達支援計画は、アセスメントや面談を通してお子さんの強みや意向、保護者の方の意向を把握し、児童発達支援ガイドラインに基づいたねらいと支援内容で作成しています。支援内容について、お子さんの発達状況や強みを活かした内容であることを丁寧に分かり易く説明し、保護者に同意を得ています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も児童発達支援計画の説明時には、保護者向けの児童発達支援ガイドライン概要版を併せて提示し、ねらいや支援内容を分かりやすく説明していきます。	100%	0%
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか <工夫していると思う点> 35 定期的に保護者と個別面談を実施するとともに、日ごろからいつでも相談に応じられる体制を整えています。相談内容により専門職員が対応する等適切に応じ、必要な助言や支援を実施しています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も相談しやすい環境作りを心掛け、保護者の方の同意を得たうえで職員間で共有し、専門的な立場からの見解を含めてアドバイスや支援を行っています。	100%	0%

評価項目		はい	いいえ
保護者への説明責任等	保護者交流会や保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか 36 <工夫していると思う点> 保護者親睦会やクラスの枠を超えた交流会を開催し、保護者同士の情報共有の場を提供しています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も保護者同士の連携や交流がもてるような機会を計画をしていきます。「きょうだい支援」についてはどのような支援が出来るか内容等を検討し実施していきたいと思っています。	100%	0%
	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか 37 <工夫していると思う点> 保護者の方からの相談があった場合には迅速に対応するようにしています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後もお子さんや保護者の方の相談の申し入れについて、迅速かつ適切な対応が出来るように職員の支援力や対応力の向上に努めます。	100%	0%
	定期的にお便り等を発行することや、HPや連絡システム等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか 38 <工夫していると思う点> 年間行事予定や保健だより、毎月の室だよりを保護者連絡システム『すぐーる』でタイムリーに保護者に配信しています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も保護者連絡システムを活用し、タイムリーな情報の発信に努めていきます。また配信の時期に併せて口頭でも説明していきます。	100%	0%
	個人情報の取扱いに十分留意しているか 39 <工夫していると思う点> e-ランニング等の研修の受講をし、職員の個人情報の取り扱い等の意識向上に取り組むとともに、個人情報の管理、取扱記録簿等守秘義務や遵守すべき事項等を全職員に周知徹底しています。 <改善が必要だと思われる点など> 引き続き、職員ひとり一人の意識を強化しながら、個人情報に関する管理や取扱の遵守に努めていきます。	100%	0%
	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか 40 <工夫していると思う点> 絵カードやジェスチャー等、個々の特性に合った意思疎通のための方法やツールを活用しています。 <改善が必要だと思われる点など> 引き続き絵カードやジェスチャー、ICTツールの活用など、ひとり一人のお子さんに応じた手段やツールを引き続き工夫し、意思の疎通を図っていきます。	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
保護者への説明責任等	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		共育プラザ小岩の職員と一緒に、非常災害訓練を行っています。子育て広場の利用者にも参加を呼びかけ、地域の方も一緒に実施することで育成室を知ってもらえるようにしています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
地域に開かれた事業所として、今後も行事等の内容を工夫していきます。				
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		全職員がマニュアルを周知し、不測の事態に対応できるように訓練を実施しています。マニュアルは事業所内の分かりやすい所に設置し、保護者の方がすぐに手に取って確認出来るようにしています。非常災害訓練は様々な災害を想定して保護者の方にも参加して頂き実施しています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
	今後も時期に応じて保護者の方にマニュアルの情報を発信していきます。また、定期的にマニュアルの内容の見直しを行い、職員の共通理解と緊急の事態への対応力強化に努めていきます。			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		業務継続計画を策定しマニュアルとして職員に周知しています。災害時に備え訓練を実施しています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
	今後定期的に救出訓練も計画に取り入れ安全の確保、対応力の強化に努めます。			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		入室時及び定期的に個人面談を行い、状況や対応について確認をしています。必要に応じて医師の指示書や検査結果を提示して頂いています。健康面の配慮については、詳細を保健師が保護者の方に確認し、職員間で共有し対応をしています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
	今後もお子さんの健康状態について最新の状況を把握し、必要な情報は職員間で共有し安全安心な支援をしていきます。			
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%
		<工夫していると思う点>		
		食物アレルギーマニュアルに基づいた対応をしています。医師の指示書に従って対応し、個別のトレイを使用して間違いの無いように提供しています。また、職員の対応力向上のために、保健師による職場内研修を実施しています。		
		<改善が必要だと思われる点など>		
	今後も医師の指示書を基に保護者の方と状況や対応を丁寧に確認し、全職員がマニュアルをしっかり把握して安全安心な食品の提供が出来るように努めます。			

評価項目		はい	いいえ
非常時等の対応	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか 46 <工夫していると思う点> 安全計画を基にOJTを行い対応の確認を実施しています。日々療育で使用する遊具については毎日、週1回はセラピストが総点検をして安全管理をしています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も安全計画を基に安全管理の徹底を図っていきます。	100%	0%
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 47 <工夫していると思う点> 契約時に災害時の対応について周知し、具体的で分かり易い説明を心掛けています。また室だよりでも安全計画についてを特集し保護者の方とも共有出来るようにしています。 <改善が必要だと思われる点など> 安全計画については室だよりや保護者会等機会をみて保護者の皆様にも周知をしていますが、更に浸透するように具体的に計画をお知らせする仕組み作りをしています。	100%	0%
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか 48 <工夫していると思う点> 日々のミーティングでヒヤリハットの有無や内容について記録をとり、職員間で共有、検証して課題や改善点を明確にしています。出来ることから速やかに改善にとりくみ、重大事案を未然に防ぐようにしています。 <改善が必要だと思われる点など> 引き続きヒヤリハットの事例検討や集計を実施し、再発防止や未然に防いでいけるよう、職員ひとり一人のヒヤリハットへの意識を高めていきます。	100%	0%
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか 49 <工夫していると思う点> 職場研修を受講した職員から職場内研修にて周知をしたり、チェックリストを活用した自己評価を実施し、虐待対応の強化、予防に努めています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も虐待防止マニュアルのチェックリスト等を活用した職員育成に努め、人権擁護等適切な対応が出来る人材育成、支援力向上、対応力向上に努めます。	100%	0%
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか 50 <工夫していると思う点> お子さんの発達特性、状況による行動の理解を深め、基本的に行動を抑制しなくてもよい支援や環境の工夫に努めています。予想される動きや場面に対して保護者と具体的な対応について話し合い、お子さんの命や怪我につながるなどやむを得ず行動を制限したり抑制することが必要な場合が想定される際には、事前に丁寧に説明をし保護者同意のもと、児童発達支援計画に具体的な支援内容としてあらかじめ記載しています。 <改善が必要だと思われる点など> お子さんの思いや意向を大切にし、主体的で好ましい行動を引き出せるような支援や環境の工夫に取り組んでいきます。	100%	0%